



# 第 3 回

## JPNIC Next Generation Task Force 研 究 会



## 本日のプログラム

19:00-19:05 ごあいさつ

19:05-19:30 参加者自己紹介

19:30-19:45 3. JPNIC Next Generation Task Force活動報告

~ 2002年度活動報告と2003年度の取り組みを中心として~

19:45-20:00 休憩 歓談

20:00-20:40 チュートリアル「インターネットとセキュリティ」

20:40-21:00 質疑応答

-21:00 終了

21:30- 懇親会



JPNIC  
Next Generation Task Force  
(NGTF)  
2003年度の活動計画

Chair: 牧 兼充  
慶應義塾大学大学院  
政策・メディア研究科助手

## 背景

- インターネットの普及により、インターネットはその社会インフラとしての重要性が高まり、より多くの技術と社会の接点における課題が出てきている
- 今後のインターネット社会の発展のためには、この技術と社会の接点における様々な課題の解決に携わることのできる人材を育成し、増やし、インターネットに関連する諸問題の解決にあたることのできる人材の層を厚くしていくことが急務である
- このようなインターネット社会における課題を解決することのできる人材を発掘し育成していくための組織として、2002年12月、Next Generation Task Force (ng-tf)が発足

# 目的

- 目的
  - 既存の枠組みでは発見が困難な、新しいタイプのインターネットに関連する諸問題を明確化
  - 共に解決に向け行動する人材発掘の場
  - JPNIC及びインターネットコミュニティが今後取り組むべき課題の発見
- 人材定義
  - インターネットの円滑な運用を支える人材
  - インターネットを巡る技術的問題と社会的問題の両方に理解がある人材
  - 次世代インターネットの発展に寄与できる人材
  - 国際的な場でリーダーシップの取れる人材
  - 多様なバックグラウンドを持った人と協調できる人材
- 国内外における活動を通じ、JPNICのプレゼンス向上・チャンネルの増加を図る

# 活動1:研究会の開催(1)

- インターネット社会において解決すべき課題は山積み
- このような様々な課題解決のための議論に加わるためには多くの前提知識が必要
- 今Next Generation人材が扱うべき課題に関する知見を持った講師によるチュートリアルとそれを受けてのディスカッションを軸とする
- 研究会は新たな人材の発掘とNGの知識レベルの向上が主眼

## 活動1:研究会の開催(2)

- 可能な限り敷居を低くし、様々なバックグラウンドを持った新規の参加者を巻き込む
- チュートリアルはインターネットの最新の課題に関する基礎的な知識を身につける場
- 参加者同士のディスカッションの場を設け、その課題の解決方法の新たな切り口を探る

# スケジュール

- 2003年度は研究会を5、6、8、10、12、2月の6回行う予定
- テーマ(予定)
  - 5月 インターネットとセキュリティ :川端
  - 6月 インターネットと電話 :佐藤
  - 8月 インターネットの発展性、IPの未来 :柴田
  - 10月 Wireless インターネット :史
  - 12月 Hot issue of This year on the Internet (Internet WeekにおけるBoFの開催)
  - 2月 日本のインターネットの歴史 :遠藤

## 活動2: 国際交流活動

- APNG Campをはじめとした国際連携活動を推進する。
- APNG Camp開催日程と開催地(予定)
  - 2003年8月 韓国・釜山
  - 2004年2月 マレーシア・クアラルンプル
- APNG Campの企画・運営を通じて国際的な視点でインターネットを考える経験を積み、他の国際会議・イベントのNext Generation (NG)人材の派遣につなげる
- アジア太平洋地域の各NICなどにおけるNext Generation Task Forceに類する組織立ち上げに際しては、JPNICにおける取り組みの情報を積極的に提供

## 活動3: 合宿の開催

- 概要
  - 年に2回程度国内で合宿を開催
- 趣旨
  - インターネット社会の変化はめまぐるしく、情報キャッチアップを継続し続けることが困難
  - 直前の半年間に起きたインターネットを巡る課題の確認とディスカッションを行う
  - 合宿はJPNICに対して今後取り組むべき課題についての助言・提案を行うためメンバ同士でインターネットの最新動向のResearchを行う場と位置づける
- 開催時期(予定)
  - 2003年5月
  - 2004年11月
- 2003年度は広く参加者を募る形ではなくメンバを中心とした合宿とする。

## 活動4: メーリングリストの運営

- 人材が相互に交流するためのメーリングリストを運営
- 研究会のチュートリアルにて提示された課題に関する議論・情報共有
- ML名 `ng-forum@nic.ad.jp`

# 活動5: 新人材発掘のための 広報活動

- ng-tfの活動を広く内外にPRする
  - 既存のチャンネルの利用だけでなく、大学などへの広報活動を重視
  - 新たな人材発掘のためには、大学における広報が不可欠
  - 学生だけでなく、社会人の参加についても視野に入れ、積極的にアプローチ
- 「インターネットが抱える課題」論文コンテスト
  - この論文コンテストは人材の発掘とJPNICが取り組むべき新たなテーマの発見に結びつけるために実施

## 活動6: その他

- メールマガジンの発行
  - Next Generation人材がインターネットに関係する必要な情報を提供すメールマガジンを発行し、ボランティア公募や各種イベントの情報を提供
  
- インターン・ボランティアの斡旋
  - インターネットが抱える最新の課題にNGが触れるためには、インターンやボランティアの経験が有効
  - ng-tfとして、情報を把握した上で、NG に対してインターンやボランティア募集の情報提供、人材の紹介を行う

## 関連組織

- 活動遂行にあたり以下の組織との協調
  - Asia Pacific Next Generation Camp (APNG Camp)
  - Internet Week実行委員会
  - 各大学

# メンバー

- 牧兼充
  - Chair
  - 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科助手
- 遠藤淳
  - Vice-Chair
  - 株式会社日本レジストリサービス
- 川上洋平
  - 新メンバーの為調整中
  - エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- 川端宏生
  - クエリ担当
  - JPNIC事務局IP事業部IPアドレス課
- 佐藤有希
  - 新メンバーの為調整中
  - 一橋大学社会学部4年
- 史虹波
  - WEB担当
  - 早稲田大学メディアネットワークセンター助手
- 柴田巧
  - APNG Camp Liaison
  - 慶應義塾大学環境情報学部4年
- 根津智子
  - メンバ会議ログ担当
  - JPNIC事務局インターネット推進部企画課
- 飯塚有紀子
  - 予算管理担当
  - JPNIC事務局総務部総務課



# APNG camp 概要

JPNIC ng- tf 柴田巧

2003年5月9日

## APNG camp

### (Asia Pacific Next Generation Camp)とは

- インターネットの次世代を担う若者達がアジア太平洋地域の各地から集い、様々な問題について語り合うと共に、将来に向けての協力関係を築いていこうとするもの
  - 第3回のテーマは **"New Relationship with the Net"**
    - 第2回のテーマ **"Asia network of the next generation"**
    - 第1回のテーマ **"AP\* & Asia Perspective of the Internet"**
  - 過去に行われたキャンプ
    - 第1回 2002/02/27~28 タイ・バンコクにて開催
    - 第2回 2002/08/28~29 中国・上海にて開催
  - 次回は、2003/08/24~25に韓国・釜山にて開催
- APNGの枠内で活動を中心としている
  - APNG (Asia Pacific Networking Group) –たくさんあるAP という団体 組織の母体のような位置付け
    - APCCIRN (Asia Pacific Coordination Committee for Inter-Continental Research Networking )が発展する形で、1994年に組織化



## The 3<sup>rd</sup> APNG camp in Taipei 概要



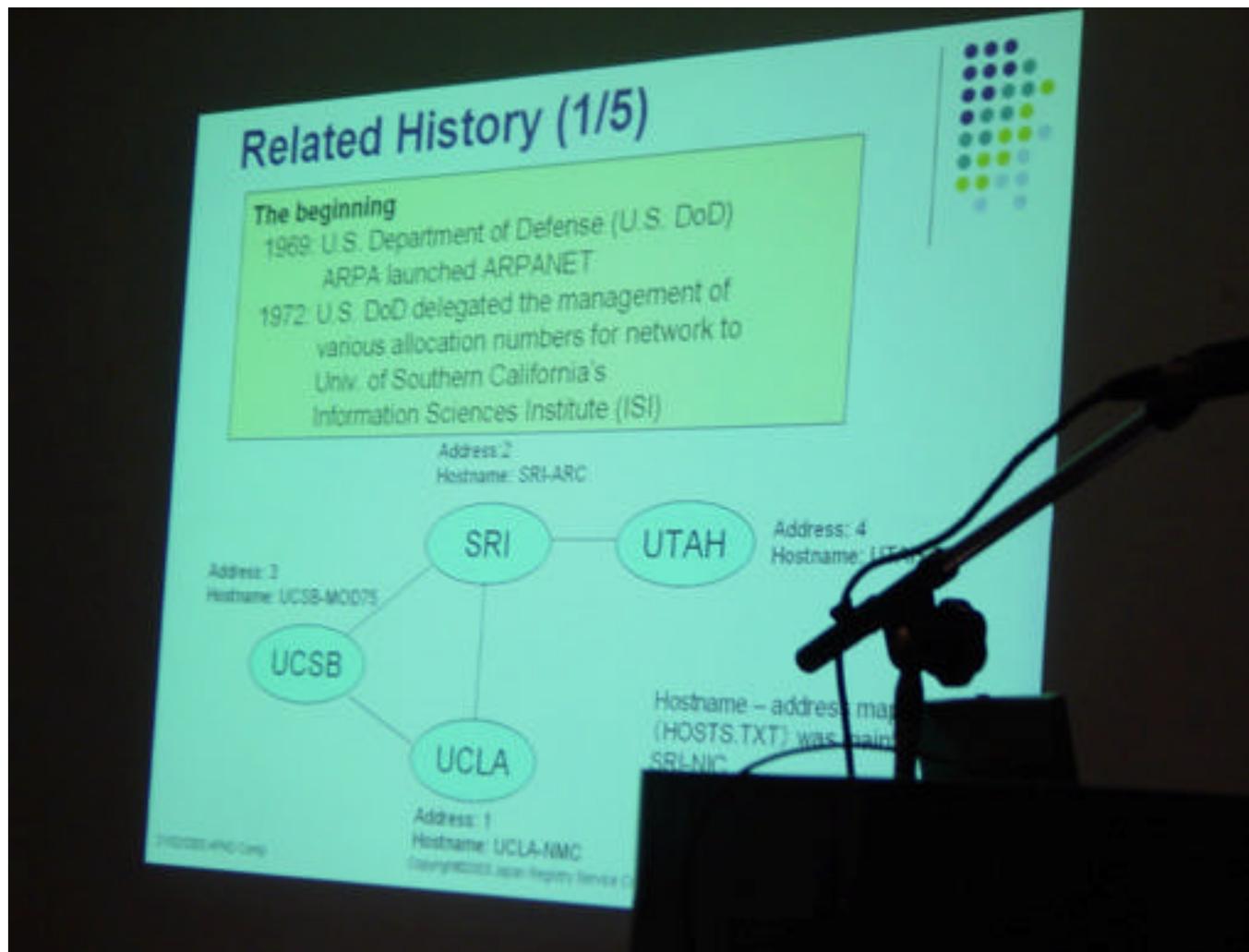
- 開催日 :2003/02/20 ~ 21
  - APRICOT2003およびAPNGと同時期に開催
- 会場 :Grand Hyatt Taipei(台北市(台湾))
- 参加者 :70人程度 (登録者数50名)
  - 登録者内訳 :Australia:1 China:3 Japan:14 Korea:8 Singapore:1 Taiwan:23
- Chair:Anthony S. Lee(TWNIC/Taiwan)
  - Vice Chair:Sunyoung Yang(Haja Center/Korea)  
Kanetaka Maki(JPNIC ng-tf/Japan)
- Case study / Tutorial / Work Group Discussion などを実施
- 日本からの参加者は、釜江祐子・川上洋平(NTTコミュニケーションズ株式会社)、佐藤有希(一橋大4年)、柴田巧(慶應大3年)、牧兼充(慶應大助手)、史虹波・Kevin Pan(潘健民)(共に早稲田大助手)、遠藤淳(JPRS)、川端宏生(JPNIC)の9名
  - 日本からは他にも、松本理事、後藤滋樹氏(早稲田大学)、米谷嘉朗氏(JPNIC IDN-TF/NTTソフトウェア)、大橋由美氏・堀田博文氏(JPRS)、高橋徹氏(RIIS)が参加

## 3<sup>rd</sup> camp での日本の取り組み

- Co-chair == 牧さん。
  - 全9名の参加者。去年は4名。
- 2<sup>nd</sup> camp はエンドユーザーよりの会議だった。
  - オペレーションよりの議論ができる場も必要と判断

### [新たな試み]

- Tutorial == Internet Governance, and IDN
  - 日本から講師もお呼びして開催
  - IDN は日本と台湾から講師を呼ぶ



## 参考URL

APRICOT

<http://www.apricot.net/>

APRICOT2003

<http://www.apricot2003.net/>

APNG(Asia Pacific Networking Group)

<http://www.apng.org/>

APNG Camp (Asia Pacific Next Generation Camp )

<http://www.apng.org/camp/>